

京丹波町バイオマス産業都市構想の概要

京都府京丹波町、人口 約1.6万人、面積 約3万ha

構想の概要

地域に豊富に存在するバイオマスをフル活用することにより、地域内で資源と経済が循環する仕組みを構築し、林業・農業・畜産業の活性化、新産業や雇用の創出を目指す

1. 将来像

- ① 森林とエネルギーの地域循環による産業化
- ② 食と農とエネルギーの地域循環による産業化

3. 目標(5年後)

- ① 木質バイオマス ※()は現在の利用率
 ・林地残材:15%(7%)、製材残材:100%(100%)
 流木:82%(27%)
- ② 家畜排せつ物
 ・乳用牛ふん尿:100%(100%)、鶏ふん:100%(100%)
 ・肉用牛ふん尿:100%(100%)、豚ふん尿:90%(90%)
- ③ その他のバイオマス 生ごみ:23%(7%)、廃食用油:29%(14%)

2. 事業化プロジェクト

- ① 森林資源のフル活用プロジェクト
 ・町内産材の活用:木材需要拡大や木づかい文化の醸成
 ・林業生産力の向上:森林資源量解析システムや高性能林業機械を活用した効率的な木材生産や自伐林家等を対象とした木の駅プロジェクト等
 ・林地残材の活用:木質バイオマスボイラーや薪ストーブの導入・普及
- ② 食と農とエネルギーの循環利用プロジェクト
 ・乳用牛のふん尿を活用したメタン発酵によるエネルギー化、耕畜連携、有機農業等の推進

4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果:7.7億円(京都府産業連関表で試算)
- ② 雇用創出効果:11名
- ③ バイオマスエネルギーによる化石燃料代替量
 ・電気:400,396kwh/年、熱:11,462GJ/年
- ④ 温室効果ガス(CO₂)排出削減量:987t-CO₂/年
- ⑤ 災害時の燃料供給量
 ・チップ生産量:600t/年、薪生産量:240t/年
- ⑥ 林地残材の利用量・1,641t/年

5. 実施体制

木質バイオマスエネルギー活用推進委員会及び畜産クラスター協議会でプロジェクトの実施を検討し、バイオマス産業都市構想策定委員会で全体の進捗管理等を行い、合意形成を図る。

6. その他

京丹波町総合計画(H28予定)、京丹波町創生戦略(H27)、京丹波町森づくり計画(H25)、京丹波町森林整備計画(H23)、京丹波町公共建築物における木材の利用の促進に関する方針(H26)、京丹波町地球温暖化対策実行計画(H25)

京丹波町バイオマス産業都市構想 将来イメージ

